地域の人々が支え合う住民活動を支援

市社協の支援事業

社協って何してるの？

1、地区社会福祉協議会活動の推進

1 地区社会福祉協議会活動推進事業

2、ボランティア・市民活動の推進

1 ボランティア市民活動相談窓口　て・と・り・あ
2 ボランティア・市民活動コーディネート事業
3 介護保険ボランティアポイント制度（市の委託事業）
4 ボランティア育成事業
5 各種ボランティア保険の受付
6 ボランティア市民活動情報提供事業

3、地域福祉活動の推進

1 生活支援体制整備事業　（市委託事業）
2 ささえあい活動推進事業　※令和４年度スタート
3 自治会活動推進事業
4 福祉施設支援事業　※令和５年度以降に実施
5 地域福祉活動団体助成金交付事業
6 健康・介護予防活動支援事業
7 福祉行事備品貸出事業
8 我孫子市民生委員児童委員協議会（市の委託事業）
9 我孫子市遺族会（市の委託事業）

4、子どもの成長支援事業

1 福祉教育推進事業
2 制服バンク事業　※令和４年７月スタート
3 我孫子市子ども食堂ネットワークの支援
4 我孫子市子どもの学習支援ネットワークの支援

5、寄付文化の推進

1 寄付金・寄付物品相談窓口※令和４年度から相談窓口設置
2 福祉募金自動販売機設置事業
3 赤い羽根共同募金（千葉県共同募金会　我孫子市支会）
4 歳末たすけあい募金（千葉県共同募金会　我孫子市支会）
5 仮称）お助けバンク事業　※令和４年度スタート
6 あびこ福祉バザー（参画事業）

6、地域共生社会の推進

1 福祉ショップ＆軽喫茶ぽぽら
2 集いの場コミュニティカフェ事業
3 あびこ福祉まつり（参画事業）
4 ホップステップふれあいキャンプ（参画事業）
5 JOY！JOY！クリスマス会（参画事業）
6 あびこカッパまつり（参画事業）

7、安心して暮らせるまちへ

1 仮称）生活支援サービス事業　あい・あびこ
2 移送サービス事業
3 傾聴ボランティア派遣事業
4 車イス等貸出事業
5 あんしんカード配布事業
6 我孫子市結婚相談所（あび♡こい♡ハート）
7 高齢社会への対応を探る会（参画事業）
8 災害ボランティアセンター事業

8、自立した生活の支援

1 あびこ後見支援センター
2 日常生活自立支援事業（千葉県社協の委託事業）
3 身元保証人代行サービス　※令和５年度以降に実施
4 仮称）遺言執行人業務　※令和５年度以降に実施
5 生活福祉資金貸付事業（千葉県社協の委託事業）
6 善意銀行　小口貸付事業
7 各種見舞金配布事業

9、広報啓発事業・その他

1 広報・地域福祉情報提供事業
2 ホームページ情報提供事業
3 西部福祉センター（市の指定管理事業）
4 居宅介護・訪問介護事業
5 障がい者（児）福祉サービス事業

地域福祉活動にご支援ください！

地域福祉、寄付文化の推進の為の寄付金を募集しています。ぜひ、身近な地域の福祉向上の為にご支援をお願いします。

事務所に来所いただく場合

我孫子市我孫子１８６１（市役所隣り）まで

お振込みいただく場合

下記の口座までお願いします。また、お手数でも、お電話かメールでお振込みのご連絡をお願いします。（領収書や所得税控除のしおりをお送りします。）

銀行支店名　千葉銀行　我孫子支店
口座番号　（普通）１２６９６９８
名義　社会福祉法人
我孫子市社会福祉協議会
会長　鈴木壽幸（スズキヒサユキ）

SDGs への取り組み

本計画では、SDGs（持続可能な開発目標）を意識し、住民による地域活動が国連で提唱する目標を取り入れることで、より一層「やさしい地域共生社会」の実現に向けて取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

赤い羽根共同募金は、千葉県域３割、我孫子市域で７割。私たちの住民活動にも使われています。

これは、住民の活動計画です。

地域の人々が支え合う住民活動計画

第６次我孫子市 地域福祉活動計画

概要版

令和４年度～令和８年度

～新しいつながり　ささえあうまち　我孫子～

地域福祉活動計画とは？

地域福祉の推進を目的として、生活課題を解決する為の民間の活動・行動計画で、地域の人々が支え合う住民の活動計画です。

この第６次計画では、地域の生活課題を行政計画やアンケート調査等を基に、どのような生活課題があり、どのような住民活動が求められているかを示しています。

本計画の全容は、こちら➡
住民アンケートなど様々な情報を掲載しています。

我孫子市社会福祉協議会のホームページは、こちら➡
もしくは、『我孫子市社協』で検索してください。

基本理念 安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

ウィズ・コロナ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、人と人とのつながりをさらに希薄にしました。今後は、安心して地域活動に参加できるよう感染症対策を取りながら、人と人とのつながりを再び構築していく必要があります。皆様には、より一層の配慮（エチケット）や気配り、声掛けなど積極的な関わり合いをお願いします。

お問合せ先
社会福祉法人
我孫子市社会福祉協議会
〒270-1166
千葉県我孫子市我孫子 1861
電話:04-7184-1539
FAX :04-7184-9929
✉:postmaster@abiko-shakyo.com

１０月１日から全国一斉に赤い羽根共同募金が始まりました。ぜひ、皆さんご協力をお願いします。

~~行政計画~~

この計画は、

住民活動計画

行政では、「第 6 次我孫子市健康福祉総合計画」という 5 ヵ年計画があります。その計画と連携した民間（住民）側の計画が『地域福祉活動計画』です。

社協が行政計画や住民アンケート調査等を通じて、地域の生活課題を把握し、「策定委員会」を設置。どのように住民活動計画を進めていくのかを検討し、策定しました。

基本理念のもと**５つの基本目標**を立てています。今後、目標に沿って活動を推進していきます。ぜひ、ご協力をお願い致します。

基本理念 安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

目指すべき社会
やさしい地域共生社会の実現

国では、令和 2 年 6 月に社会福祉法改正案を含む「地域共生社会への実現のための社会福祉法等の一部改正する法律」が可決・成立しました。

社会福祉法第 4 条（地域福祉の推進）に『**地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行わなければならない**』と新しく改正されました。

基本目標 ① 広げよう　つながりの輪

家族や親族、地域等での疎遠化が進む中、令和 2 年から続くコロナ禍社会で、より一層疎遠化が進んでいます。これまで以上に、「人と人とのつながり」や「きずな」が重要です。

多様な人々がつながる地域、人それぞれ居場所がある地域、もう一度つながる、新しくつながりを持てる地域、共に「やさしい地域共生社会の実現」を目指しましょう。

基本目標 ② 学び、理解し、共にあゆむ

地域には、子育て中の方、一人で暮らす高齢者、日本語が話せない方、持病や障がいをお持ちの方、ジェンダーで悩んでいる方、コミュニケーションが苦手な方など様々な方が共に生活をしています。

人それぞれの状況や価値観などを学び、理解しましょう。自分の為、他人（ひと）の為、理解と共感が広がれば、より良い生活になります。

基本目標 ③ 支援が必要な人たちを支える

生活に困っている方や不便と感じている方がいます。困窮し生活に余裕がない方、民間サービスに依頼するほどでないちょっとした困りごと、家や庭の管理、金銭や財産管理が不安な方などです。

ちょっとした声掛けや相談、お手伝い、見守りや生活支援サービス、学習支援やフードドライブ、ボランティア活動や市民活動などの地域活動や募金・寄付金などでの支援が求められています。

自治会の役員の担い手が見つからないから、辞められない。

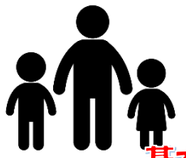
ゴミ出し当番ができない世帯が増えた。

子どもが安全に遊び、つながる場がもっとあるといいな

障がいを持つ子も健常の子も一緒に遊び、学べる場がほしい。

子育てと親の介護で、ダブルケア。でも私が頑張らないと生活が成り立たない。

気軽に相談できる人がいない。



仕事と子育ての両立が大変。少しだけお手伝いをお願いしたい。

地域にはさまざまな生活課題があります。

ゴミを出すのも、ひと苦労。生きるだけで精一杯。

庭の草刈り、家の管理や保全がたいへん。

車を運転しなくなってから、買い物、通院がしんどい。

誰か付き添ってくれる人いないかしら？

身寄りがいない。保証人を頼める人がいない。いざという時どうしよう。

お葬式やお墓のこと、相続や遺言など将来が不安でいっぱい。

大地震や水害が起きたら、どうしよう。

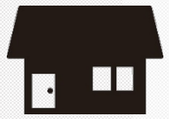
もっと障がいを理解してほしい。

最近、生活に困窮している世帯が増えている。

わかりやすく情報を提供してほしい。

もっと社会とつながる機会がほしい。

隣に誰が住んでいるか知らない。



空き家が増え、管理されていない家が増えた。

基本目標 ④ 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

子ども、子育て中の方、仕事をしている方、年金暮らしの方、外国の方など、みんなが地域活動に参加できる環境づくりが必要です。また、参加する事はとても勇気が必要ですから、「ちょっと手伝ってください。」とみんなで誘いましょう。

多様な人々が、大小様々な地域の課題を共有し、関わり合い取り組むことは、「やさしい地域共生社会の実現」につながります。

基本目標 ⑤ 安心と安全を守る取り組み

東日本大震災や台風被害などの大規模災害に、多くの方が不安に感じ、地域での取り組みとして重要視されています。

このような大規模災害では、一人ひとりの防災・減災活動も大切ですが、災害発生時は、助け合いや支え合い、声掛けや気配りが必要です。日頃からのご近所付き合い、地域の方々とのつながりを大切にし、防災訓練には積極的に参加しましょう。

５つの基本目標を参考に、「声掛け」や「地域活動」に参加して、他人（ひと）にやさしい生活を目指しましょう。

できること　できる範囲で　続けましょう